

彦根市立病院

地域連携 だより

彦根市立病院
〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地
TEL : 0749-22-6050 (代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室
TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

あけましておめでとうございます



新たな地域医療構想を考える 挑戦と成長の年

なかの あきら
病院長 中野 顕



皆様、新年明けましておめでとうございます。新しい年、2025年の幕開けを迎え、皆様に心よりお祝い申し上げます。

昨年
の干支である辰年のキーワードは「激動と変革」でしたが、年初の能登半島地震・航空機事故で始まり、南海トラフ地震臨時情報の発表や衆議院総選挙などまさに激動の1年となりました。我々医療業界においても医師の働き方改革や医療従事者の地域偏在に加えて診療報酬改定の影響が予想以上に厳しいものとなり、まさに耐え忍ぶ1年となりました。

さて、干支の本来の表記は、皆様ご存知の十二支と十干(じっかん)とを組み合わせたものです。今年の干支は「乙巳(きのとみ)」で、柔軟性と知恵を象徴する年とされています。乙(きのと)は、十干の2番目で「軋(きしむ)」を意味しています。木の陰のエネルギーを表し、植物が成長し広がっていくような意味

合いです。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。巳(み)は、十二支の6番目で蛇を表します。蛇にはネガティブなイメージもありますが、たくましい生命力があり、脱皮をするたびに表面の傷が治癒していくことから、医療、治療、再生のシンボルともされています。いよいよ本年からは「新たな地域医療構想」を考える時代に突入します。人口減少が本格化し労働力不足がさらに深刻化する中で、湖東地域における病病・病診・介護連携の深化と地域包括ケアシステムの整備が待ったなしの課題となります。本年こそは、皆で知恵をしぼり、既成概念にとられない巳のような柔軟性を持って、新たな挑戦と成長をとげたいと願っています。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

彦根市立病院 地域医療連携室

業務時間：月～金曜日：午前8時30分～午後7時（但し木曜日は午後5時15分）土曜日：午前9時～午後12時30分

連絡先：地域医療連携室 TEL 0749-22-6053(直通) FAX : 0749-22-6093



肥満外来をはじめました

～ウゴービを週1回注射しながらの食事療法、運動療法～



糖尿病代謝内科 診療局長 黒江 彰 (くろえ あきら)

肥満症の治療とは

先生方の外来へも高度肥満で体重管理の難しい患者さんが来院されると思います。意思が弱くて痩せられない方もいますが、体質的にどうしても体重が増えてしまう方もおられ、食事療法、運動療法のみでは困難な場合があります。2型糖尿病の治療に使われるGLP-1受容体作動薬の中には、減量効果を持つ薬剤もあり、医者側も体重制御を期待してそれらの薬を使う場合があります。オゼンピックという製剤(薬物名:セマグルチド)は2型糖尿病にのみ適応がありますが、同じセマグルチドを用いるウゴービという製剤が上市され、肥満症に使うことが可能になりました。週1回の皮下注射を0.25mg製剤から開始して体重を見ながら漸増していきます。針が内蔵されているのでキャップを外して体に押し当てるだけで注射できます。

投与開始時における留意事項 チェックリスト

本製剤の投与開始に当たっては、次の事項を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。

患者要件

7. 合併している疾患(該当するものをすべて記載する必要があります)

ア. 高血圧	イ. 脂質異常症	ウ. 2型糖尿病
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

8. BMI

エ. BMIが27kg/m ² 以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する	オ. BMIが35kg/m ² 以上
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

患者要件エに該当する場合は、患者要件9に含む

9. 肥満に関連する健康障害(患者要件エに該当する場合、該当するものをすべて記載する必要があります)

健康障害	健康障害
<input type="checkbox"/> カ. 耐糖能障害(2型糖尿病・耐糖能異常など)	<input type="checkbox"/> シ. 非アルコール性脂肪性肝疾患
<input type="checkbox"/> キ. 脂質異常症	<input type="checkbox"/> ス. 月経異常・不妊
<input type="checkbox"/> ク. 高血圧	<input type="checkbox"/> セ. 閉塞性睡眠時無呼吸症候群・肥満低換気症候群
<input type="checkbox"/> ケ. 高尿酸血症・痛風	<input type="checkbox"/> ソ. 運動器疾患
<input type="checkbox"/> コ. 冠動脈疾患	<input type="checkbox"/> タ. 肥満関連腎臓病
<input type="checkbox"/> サ. 脳梗塞	

10. 食事療法・運動療法に係る治療計画を作成した年月日

11. 患者要件10の治療計画に基づく食事療法において、管理栄養士による栄養指導を少なくとも6か月以上受けたことがわかるすべての年月日

12. 合併している高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病に対して投与中のすべての医薬品名

13. 本製剤による治療計画(68週以内に投与を中止する計画であることを作成した年月日)

ウゴービ®皮下注

0.25mg SD/0.5mg SD/1.0mg SD/1.7mg SD/2.4mg SD(週1回投与)



ウゴービの適応症例は？

ウゴービがつかえる患者さんは厚労省からの指示で限られています。表にある通り糖尿病がなくても、高血圧、脂質異常症のどちらかで治療している必要があります。その上でBMIが35以上ならウゴービを保険適応で使用できますが、27以上でも膝関節の痛みなどがあれば適応となる可能性があります。患者さんの希望があれば当院の糖尿病代謝内科への紹介をお願いします。

当院が滋賀県で4例目の認定施設となりました

ウゴービはすぐに使える？

ウゴービを使用するためには栄養士による食事指導を2ヶ月ごとに受けて6ヶ月経ってもBMI>27の時に初めて使用が可能となります。ご紹介いただければ肥満症として食事指導を当院で開始します。

最後に・・・

肥満症の治療に、食事療法、運動療法が大切であることは昔も今も変わりません。

しかし、薬物の併用でより結果を出しやすくなる場合もありますので、患者さんも医療チームの一員として参加していただき肥満の治療に共に取り組んでいきたいと考えています。



どの医療機関でも使える？

ウゴービは2024年12月現在、限られた医療機関でしか使用が認められていません。滋賀県内では、滋賀医科大学附属病院、市立野洲病院、淡海医療センターでしか処方できませんでしたが、当院が滋賀県で4例目の認定施設となりました。

ご紹介ください

火・木・金
9:30、10:30

糖尿病代謝内科の地域連携枠でご案内させていただきます

不整脈外来について

月曜日 午前
予約制

不整脈外来は様々な不整脈に対し、精査・加療を行っていく専門外来となります。ただし基本的には他の医院や病院で診断された不整脈について、主に非薬物療法(手術療法)での治療をお勧めするケースが多数となります。なお「不整脈」という言葉はよく耳にするかと思いますが、具体的な内容についてはあまり知られていないことが多いので、ここで「不整脈」について少し説明させていただきます。

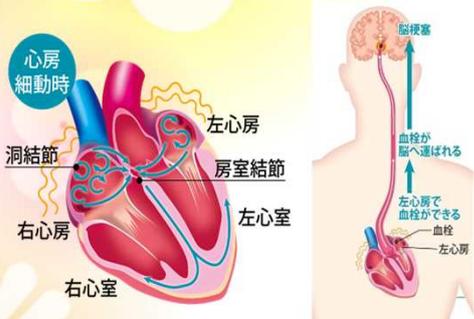
心臓は右心房・左心房・右心室・左心室の4つの部屋からできています。それぞれの部屋は筋肉の袋のようになっており、この筋肉が収縮・拡張することで血液を体中に送り出す働きをしています。正常な心臓では規則正しいリズムで拍動し、安静時には1分間に60～80回の脈拍が生じます。規則正しく心臓を収縮させるために、心臓には電気信号(電池)とそれを心臓全体に伝える電線(伝導路)が存在します。右心房の上部には洞結節と呼ばれる細胞が存在し、電気信号を作っています。洞結節から生じた信号が伝導路を介して心房全体を伝わり心房全体を収縮させたのちに、心室に伝播していきます。これを正常刺激伝導系といいます。



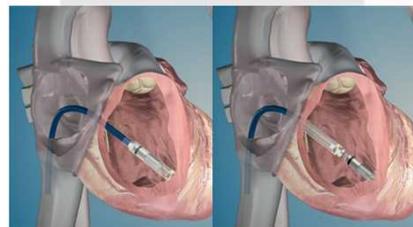
不整脈とはこの電気系統に異常が出て心臓のリズムが乱れることであり、脈拍が遅くなる「徐脈性不整脈」、速くなる「頻脈性不整脈」、そして脈が“飛ぶ”あるいは“乱れる”「期外収縮」の3つに大別されます。

「頻脈性不整脈」では本来の刺激伝導系以外に異常な伝導回路が心臓内に存在し、その異常伝導回路を介して速い興奮伝導が発生するものになります。また「期外収縮」とは洞結節以外の心筋細胞が、洞結節の電気信号とは全く無関係に異常な電気信号を発生して心臓を収縮させるものであり、洞結節の電気信号で予期されるタイミングよりも早い心収縮が起こり、脈に乱れが生じます。

「頻脈性不整脈」や「期外収縮」では、動悸・息切れ・胸の不快感・胸痛・めまい・失神を認めることが多いですが、時に無症状のこともあります。「頻脈性不整脈」では「発作性上室性頻拍」と「心房細動」がその代表となります。前者は突然脈が速くなり、規則正しいのが特徴です。カテーテル・アブレーション治療で高率に完治が可能です。後者は心房が痙攣した状態となり、通常は頻脈となりますが、前者とは違い脈が不規則なのが特徴です。また痙攣した心房で血栓ができ、脳梗塞などの原因になることがあります。そのため多くの方で血液を固まりにくくする薬が必要となります。



めまいや失神を認める「徐脈性不整脈」の場合にはペースメーカの植え込みが必要となります。全ての「徐脈性不整脈」の患者が対象となる訳ではありませんが、本邦では2017年よりカテーテルを用いて心臓内に直接超小型のペースメーカ(リードレスペースメーカ)を留置する治療が可能となっており、当院においても適応患者には同手術を行っております。



リードレスペースメーカ（上段）とカテーテルによるリードレスペースメーカ植え込み術（下段）

服薬での根治は不可能

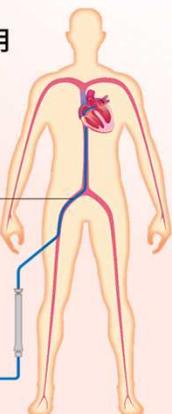
カテーテル・アブレーション治療

根治が望めます！

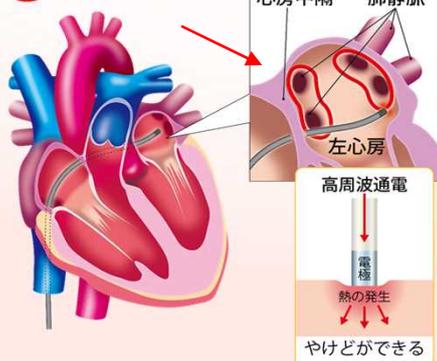
カテーテル・アブレーション治療とは、足の付け根や首の血管から、先端に電極のついた太さ2mmほどのカテーテルを心臓内に挿入し、不整脈の原因となっている組織を探し出し、高周波エネルギーにて加熱（50～60℃）して不整脈の原因となる細胞を破壊することにより不整脈を根治する非薬物療法です。

アブレーション用電極カテーテル

高周波発生装置



やけどを作る場所



当院におけるアブレーション症例/件数
(2020年4月1日～2024年9月30日；4年6ヶ月)

・発作性上室性頻拍症	； 45例
・通常型心房粗動	； 18例
・心房頻拍/非通常型心房粗動	； 29例
・心室期外収縮/心室頻拍	； 22例
・心房細動	； 388例
計	； 502例

アブレーション根治率	発作性心房細動 (初回治療)	心房細動 (複数回治療・持続性を含む)
	89.7%	85.2%

原則的に手術療法を前提とする疾患に対し紹介を受ける形となりますので、できる限り本人のみならずご家族の方も同伴していただくと有難いです。

